



















全アロン防水組合基本方針	重 点 施 策	目 標 値 ・ 指 標 等	振り返り・達成状況(○：達成、●：未達 ―：中止)	SDG s への貢献
1.社会的責任の遂行、法令順守の徹底 (1)建物の長寿命化による社会貢献の遂行  (2)関係法令・社会規範の順守 (3)環境に配慮したもののづくりの推進  (4)チャリティ募金の継続	【社会的責任、法令順守】 ・アロン建材製品を用いたトータルメンテナンスを提案する ・公共建築改修工事標準仕様書(平成31年度版)に外壁用塗膜防水材が掲載されたことのPRを行う ・関係法規の順守徹底を強化し、不正行為を撲滅する ・環境に配慮した工法・製品を提案し、施工を行う  ・福祉活動としてチャリティー募金活動を実施する	【社会的責任、法令順守】 ・販売数量 2,044 t 以上/年  ・機関紙「あゆみ」に関係法規順守の記事を掲載 ・環境に配慮した工法・施工実績を集約  ・通常総会時の継続行事として実施する	・● 1,648t 81% (前期比104%)  ・○ あゆみ252号・255号に法令関係記事掲載 ・● 水系率(トップ・プライマー) 目標 77% 実績71% (前期実績72%) ● 遮熱率(屋根用) 目標 27% 実績 20% (前期実績25%) ○ 高耐久化率(外壁用) 目標72% 実績78% (前期実績70%) ● SQ-M工法採用比率 目標13% 実績10% (前期実績11%) ● SQ-AS工法採用比率 目標9% 実績5% (前期実績7%) ● アロンコールドSH採用比率 目標0.70% 実績0.52% (前期実績0.67%) ・○ (藤田学園に20万円を寄付)	     
2.組合運営の基盤強化 (1)組合員数の増員  (2)組合員の販売数量増強  (3)組合員、商社、メーカーによる三位一体の強化	【組合員の増員と営業力強化】 ・各支部は、組合の基本理念とビジョンを良く理解し、行動指針を順守できる 施工店の入会を検討する ・各支部は、組合員と個別に目標数量と施策を定め、目標管理を継続して実施する  ・組合目標管理として取り決めた施策を実施する	【将来に向けて組合員の増員と販売量増加】 ・安定的な組合運営ができる組合員数の推移を見極める  ・1社当たりの販売数量 8.6 t から10 t へ ・メーカー表彰対象者数 31社から35社へ ・5 t 未満の組合員数 83社から70社へ ・目標を達成した社数を前年比+10%の社数へ	・○ 全国で240社 第40期2社増加で212社(入会4社 退会2社)  ・● 7.7t (前期7.5t) ・● 34社 (前期26社) ・● 87社 (前期91社) ・○ +17% (今期55社 前期47社)	   
3.組合活動の強化 (1)支部活動の活性化  (2)技術委員会成果の実効化 (3)総務営業委員会成果の有効活用	【組合活動】 ・各支部の若手の活性化策として管理士会の質の向上、組合員の店別管理士会の 開催促進、支部間交流会を通じてレベルアップを図る ・アロンコート S Q 技能工、調査診断・防水管理士の増加 ・組合員が提案営業に活かせるよう L C C 資料等の営業ツールを再構築する	【組合活動】 ・販売拡大キャンペーンの実施 3支部以上 ・調査診断・防水管理士検定 合格者100名以上/年間 ・アロンコート S Q 技能工検定 合格者50名以上/年間 ・営業ツールを作成	・○ 7支部(北海道・関東・東海・北陸・近畿・中国・九州) ・● 84名(関東 34名 東海 15名 北陸 24名 四国 11名) ・● コロナ禍の影響で試験が実施できず ・● 第41期公開予定	   
4.重大な品質問題の絶無 (1)プライベートライセンス制度の維持 (2)技能検定(防水施工-アクリルゴム系塗膜防水工事 作業)の受検対策の強化 (3)標準仕様書に基づく品質管理の徹底	【品質】 ・アロン建材スクール等を利用して、各社選任者を確保する ・N B K、G S K等の外部団体と協力し、受検しやすい環境を整備する  ・調査診断・管理士会の講習会やアロン建材スクールを用いて施工技術の向上を図る	【品質】 ・各支部による検定試験の実施 ・技能検定受検者数の維持 100名以上/年間  ・建材スクールの参加者 150名以上/年間	重大な品質問題の発生0件 ・● 4支部が実施(関東・東海・北陸・四国) ・― コロナ禍の影響により検定自体が中止で受検できず  ・● 14名 (コロナ禍の影響によりほぼ開催できず)	    
5.重大な公衆災害・労働災害の根絶 (1)リスクマネジメント活動の徹底  (2)意識向上のための啓蒙活動実施	【リスクアセスメント】 ・組合HPに掲載しているリスクマネジメントシートの活用  ・機関紙「あゆみ」で関連記事の掲載による啓蒙 ・安全衛生教育の実施	【リスクアセスメント】 ・組合員の公衆災害及び労働災害 0件  ・機関紙「あゆみ」に災害に関する記事を掲載 ・各支部で現場施工見学会(テーマ：安全・品質)を実施	・● 重大災害 0件 軽微な災害 21件 (アンケート集計 回答112社) 【公衆災害13件の内訳】 飛散6件 汚染水の発生4件 その他・不明3件 【労働災害8件の内訳】 不注意や過信による転落・転倒6件 作業ミスによる怪我2件 ・○ (あゆみ251号、252号に記事掲載) ・― (コロナ禍の影響により中止)	  
6.生産性の向上 (1)効率の高い施工方法の開発  (2)ベテラン技能者、女性技能者の活用 (3)新工法の確立	【生産性向上】 ・機械化・省力化工法の普及に向けた検討を行う  ・幅広い技能者の活用を啓蒙する ・組合員の意見を反映させた材料の改善 ・吹付+ローラー塗り併用工法等の検討 ・高付加価値を提供できる工法(爆裂補修工法等)	【生産性向上】 ・防水材吹付け機による生産性を確認  ・機関紙「あゆみ」に関連記事を掲載し、啓蒙活動を実施 ・新工法の確立 1件以上	・○ 「アロンコート S Q 陸屋根での吹付け施工の活用事例」 【建材ニュースNo.267】で吹付けの施工効率、はロー ラー塗りの3倍であることの報告あり ・○ あゆみ252号に記事掲載 ・● コロナ禍の影響により未対応	     

\* 組合発展ビジョンは、定期的に振り返りと達成状況を確認し、適宜見直しを実施いたします。